
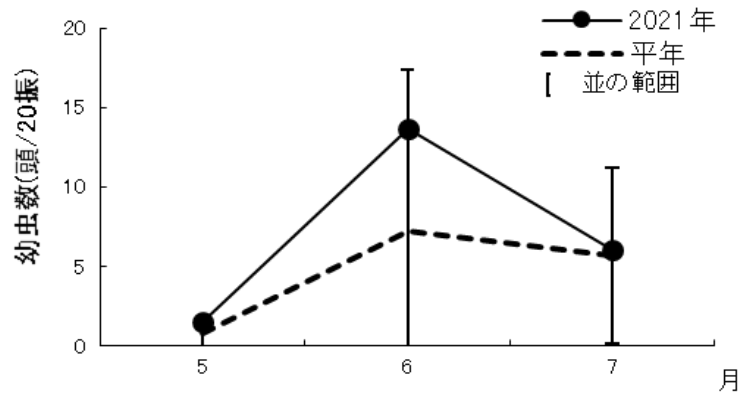


作物	さとうきび	地域	沖縄本島
病害虫名	バッタ類		
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	並	
予報	7 月からの増減傾向	—	
		8 月の発生量 (平年比)	—

予報の根拠

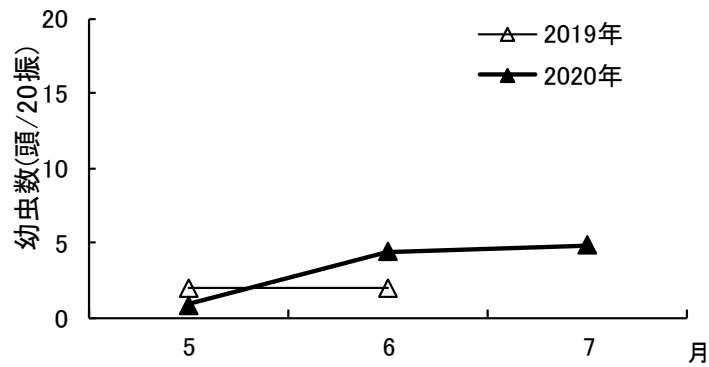
調査結果

今期と平年の推移



バッタ類(幼虫)の発生推移

過去2年の推移




バッタ類(幼虫)の発生推移

・防除員報の報告：多発生（久米島）

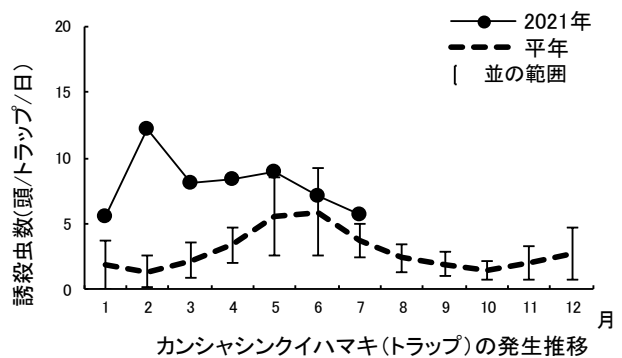
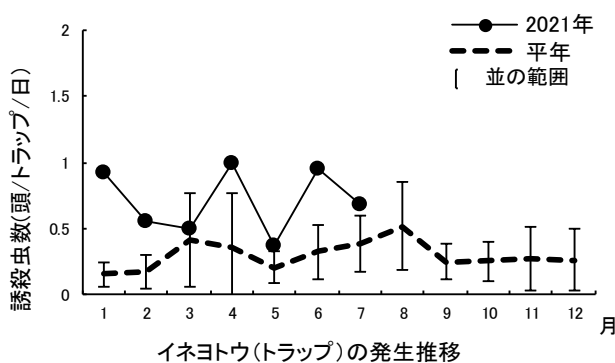
防除のポイント

- ・発生源となるほ場及び周辺の除草を徹底する。
- ・成虫防除を実施する場合には、活動の鈍い早朝に一斉防除を行うと効果的である。

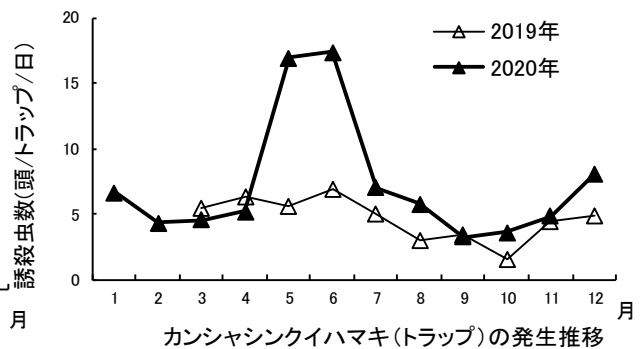
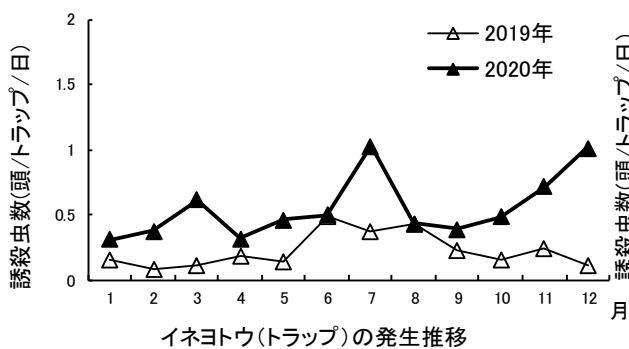
作物	さとうきび	地域	沖縄本島	
病害虫名	メイチュウ類(カンシャシクイハマキ・イネヨトウ)			
調査結果	7 月の発生量 (平年比)			やや多
予報	7 月からの増減傾向			—
	8 月の発生量 (平年比)	—		
予報の根拠				

調査結果

今期と平年の推移



過去 2 年の推移



防除のポイント

- ・ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間に散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。